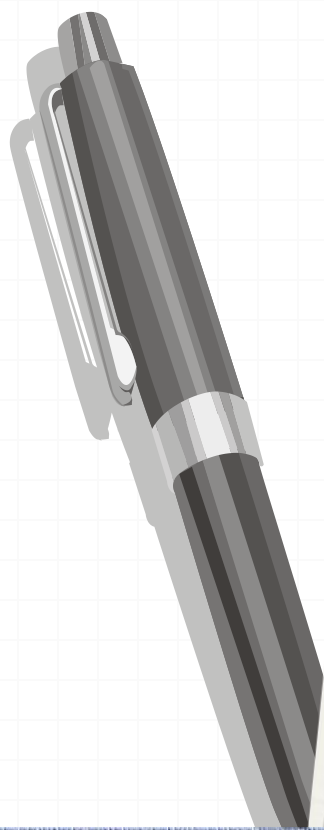
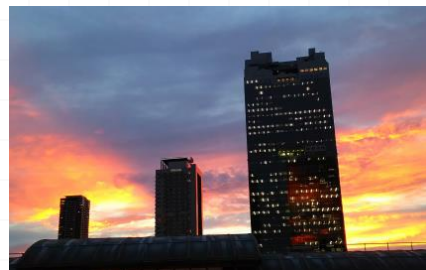


ENERGY FRONTIER JOURNAL



エネルギーフロンティア ジャーナル 2016年 秋号 目次



- 時事解説
再生可能エネルギーの次の主役とは？
- エネルギーフロンティアの事業紹介
補助金最新情報 ～平成29年度予算・東京都～
- エネルギーフロンティアのひとり言
西新橋『3社協働オフィス』より
- イベント情報
再エネFIT法改正関連情報 ほか

VOL.26



再生可能エネルギーの次の主役とは？

世間では「再生可能エネルギー」＝「太陽光発電」の様な印象をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？確かに、**再生可能エネルギー固定買取制度(FIT)**は、制度開始から5年目を迎え、**太陽光発電（事業用10kW以上）の買取価格が24円/kWh（税抜）**と下落した結果、「太陽光バブル」が弾けて、**マーケットが沈静化**した様な報道さえも良く見掛けます。

各電源の買取価格決定方式の見直しイメージ						出典：経産省資料
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度～
事業用太陽光 (10kW以上)	4.0円	3.6円	3.2円	2.8円	2.4円	毎年決定・大規模太陽光は入札実施
住宅用太陽光 (10kW未満)	4.2円	3.8円	3.7円	3.3円	3.1円	価格転換のスケジュールを示す
風力			2.2円(5000kW以上) 5.5円(200kW未満)		3.5円(準上風力)	価格目標を各電源設定
地熱			2.6円(10000kW以上) 4.0円(5000kW未満)			推定年分を一括して決定する
水力			2.4円(10000kW以上・30000kW未満) 2.9円(2000kW以上・10000kW未満) 3.4円(200kW未満)			※ 風力については、価格転換のスケジュールを示す。
バイオマス			3.9円(小規模固定) 3.2円(燃料供給事業者の廃棄物(バイオマス)・2.4円(一般廃棄物(バイオマス・農産物等)・1.3円(燃料供給事業者)・1.7円(一般廃棄物・その他廃棄物(バイオマス))		4.0円(燃料供給事業者の廃棄物(バイオマス)・3.2円(一般廃棄物(バイオマス・農産物等)・1.3円(燃料供給事業者)・1.7円(一般廃棄物・その他廃棄物(バイオマス))	

しかしながら、右上の「各電源の買取価格決定方式の見直しイメージ」でもご覧頂けるとおり、**太陽光発電以外は、制度開始以来、買取価格は据置き**あるいは**更なる細分化等による価格上昇**となっています。つまり、FIT制度創設前の各電源の買取価格と比較すれば、**まだまだ高価であり「費用対効果」も優れている**と言えます。また「発電」ばかりについて目がいきますが、**再エネ「熱利用」の観点**も大変重要と思います。2016年秋号では、再エネの次の主役について、皆様と考えてみたいと思います。

太陽光発電以外の再エネの現実や将来像とは・・・

確かに「**風力発電・地熱発電**」のように、環境アセスメントなど、クリアすべき課題が多く、稼働開始まで**時間や労力の掛かる再エネ**もあります。また「**バイオマス発電**」のように、原料であるバイオマス燃料を如何に確保するか、発電所と地方再生をどうやって結び付けていくかなど、**大きな課題もあることも現実**と思います。但し、その様な厳しい状況の中、「**電力小売全面自由化**」の追い風もあり、『おらが電力』として、「**地域主導型再エネ事業**」がご関係者の必死の努力により、1つひとつ実を結び、**再エネ比率をFIT開始前の1.4%から4.7%へ引き上げている**のも事実です。例えば、エネルギーフロンティアとしては、ご関係者の皆様と厳しい課題を『**協働事業**』としてご一緒に汗を流しながら、**各種補助金なども活用**しつつ、皆様の「**接着材**」の**ような存在**になれないか、と模索しています。皆様と「**強み**」と「**知恵**」を持ち寄り、課題を解決していくことで「**再エネの最大限導入**」「**原子力依存度低減**」など、日本政府が目指す、**2030年度「2013年度比CO2排出量▲26%削減**」の目標に一步でも近づくことが出来れば、「エネルギー」のあるべき将来への「思い」が繋がります。

再生可能エネルギーの次の主役を占う・・・



出典：株式会社寺田鉄工所様 太陽熱設備導入事例

例えば、**古くて新しい再エネ**として「**太陽熱利用**」があります。我が家でも旧式ながら太陽熱設備を利用しており、日々の給湯に活用して、**都市ガス費用削減・CO2排出量削減**にも一役買ってくれています。現在、当社では「**事業用太陽熱**」にも注目しており、新たなビジネスとして、ご関係者の皆様と**太陽熱を活用したプロジェクトの検討**を進めています。欧米のように「**熱のFIT法**」でも成立すれば、一気に風向きも変わって来る

と思うのですが・・・今年、阪神タイガースの『**超変革**』も時間が掛かる現実を痛いほど味わいました。**我々も決して諦めることなく、再エネに取り組んでいきたい**と思います。

補助金最新情報 ～平成29年度予算・東京都～

平成29年度のエネルギー関連補助事業の状況

先に発表された平成29年度予算の概算要求では、例えば経済産業省様においては、「**省エネルギー投資促進に向けた支援補助金**」として、**1,140.5億円**という大型の予算が計上されています。**工場・事業場、住宅、ビルにおけるエネルギー消費効率の改善を促し、徹底した省エネを推進する**ことが目的です。この予算内に例年の「エネルギー使用合理化補助金」も含まれると思われます。



<平成29年度予算>

〇〇〇●省エネルギー投資促進に向けた支援補助金 〇〇〇●

(エネルギー使用合理化事業者支援補助金、ZEB、ZEH、設備単位等の事業を含む)

公募：H28年度実績では、公募期間が6月6日～7月1日、交付決定は8月24日

対象：法人及び個人事業主 ※対象要件は複雑で数パターンあり (例)事業場全体の省エネ率1%以上

実施：経済産業省様／環境共創イニシアチブ (SII) 様

補助：機器費、工事費といった補助対象経費の1/3以内を予定、エネマネ活用で1/2以内も継続、エネルギー消費原単位改善に関する要件が追加

Point：今後幾つかの事業に分離(1社1館使用合理化、ZEB、ZEH等)されることが予想。省エネ量、省エネ率、費用対効果性、技術の先端性が必要・節電効果が重要視される。

省エネ目標
の達成は
必須！

〇〇〇●先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減設備補助事業 〇〇〇●

公募：H28年度実績では、公募期間が4月26日～5月25日

実施：環境省様／一般社団法人温室効果ガス審査協会 (GAJ) 様

補助：機器費、工事費といった補助対象経費の1/3以内を予定

Point：排出量取引制度への参加、指定の先進機器導入20%以上必要、第三者の事務代行も可能など。「費用対効果性」の優れる事業が評価される。H28年度から検証費用は事業者負担に変更。

略称：
ASSET事業

〇〇〇●再生可能エネルギーの導入促進のための設備導入支援事業費補助金 〇〇〇●

公募：H28年度実績では4月28日～9月9日で、4次公募まで実施

対象：熱利用設備や、発電システム、蓄電池の導入に対する補助。

FIT制度との併用は認められず、導入設備からのエネルギーは自家消費する。

実施：経済産業省様／環境共創イニシアチブ (SII) 様

補助：機器費、工事費といった補助対象経費の1/2以内を予定 (太陽光発電1/3)

Point：補助率はH29年度より1/2に拡大される一方、自治体との連携事業は2/3、太陽光発電1/3を維持。各方策毎に応募要件が定められている。

補助率が1/2に
拡大されています！

※ 上記の平成29年度事業内容は平成28年度実績に基づいたものであり、今後変更される可能性があります。

東京都の再エネ関連設備補助事業の状況



東京都様では、平成28年度事業が継続的に公募されており、今回は特に「**再生可能エネルギー設備補助事業**」をピックアップしてみました。平成29年度の予算情報については、財務局より**平成29年2月に「東京都予算案の概要」が公表される予定**です。

〇〇〇●再生可能エネルギー導入拡大事業 〇〇〇●

公募：公募期間 (第1回) H28年9月30日～H29年1月31日、基金のため事業年度はH31年度まで

対象：都内に再エネ設備を設置する事業で、H32年12月28日までに実績報告ができる事業

補助：機器費、工事費といった補助対象経費、中小企業などは1/3 (国等の補助金と併給する場合、合計2/3以内)、補助金上限は5,000万円。民間事業者は1/6 (国等の補助金と併給する場合、合計1/2以内)、補助金上限は2,500万円。※詳細はHPを参照

<https://www.tokyo-co2down.jp/company/subsidy/chisan-chisho/index.html>

Point：都内の事業者限定にはなるが、平成28年度内から申請可能な補助金制度が公募開始。

エネルギーフロンティアのひとり言



この度、当社では、創業後初めての拠点を開いた中央区京橋から、**港区西新橋に新しい東京営業所を移転**いたしました。

～ 東京営業所の新住所は本ページ最下段をご覧ください～

ちょうどJR新橋駅と東京メトロ銀座線虎ノ門駅の中間地点に位置し、虎ノ門ヒルズ周辺の開発が、東京オリンピックに向けて進んでいく姿を望める好立地です。営業所の背景には、虎ノ門ヒルズのライトアップが綺麗に映え、まさに今後の躍動感に包まれている地区です。

また、前回もお伝えしましたが、新拠点は、当社の目指す『**協働事業**』『**共創ネットワーク**』により『**三方よし経営**』を実現するビジネスの試みとして『**3社協働オフィス**』として運営しております。「三方よし」という言葉は、元々「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の近江商人の心得によるものですが、当社では、『**企業よし**』『**市場よし**』『**地球よし**』の「三方よし」を掲げています。

奇しくも、協働オフィスの船出に参加してくださった仲間も当社を入れて**3社**であり、ここからどのような**新しい「三方よし」**を生み出すことができるのか、ご期待ください。（森田）



イベント情報

- ✓ 本編の時事解説でも触れましたが、経済産業省様では、去る10月3日に開催された「**調達価格等算定委員会**」にて「**FIT法改正を踏まえた調達価格の算定について**」を公表しています。**非住宅用太陽光は、発電コストの目標を「2020年 14円/kWh」「2030年 7円/kWh」と**するなど、各電源の目指すべき方向性が示されています。詳細は以下HPをご参照下さい。
http://www.meti.go.jp/committee/chotatsu_kakaku/023_haifu.html
- ✓ 環境共創イニシアチブ（SII）様は、**平成27年度補正「中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業補助金」の4次公募**を開始しました。現段階でも全体予算442億円のうち**193億円の予算が残っている**とのことで、**より多くの事業者様の補助金活用**を呼び掛けています。**補助対象は省エネ機器単体（工事含まず）、補助率は1/3であり、事業完了は来年2月17日まで延長**されました。**公募期間は9月30日～11月11日**となっています。詳細は下記ご参照下さい。
<http://sii.or.jp/kakumeitoushi27r/shinsei/note.html>
- ✓ 「**エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展**」が、**12月8日～10日 東京ビッグサイト**にて開催されます。東京以外の方もこの機会にお出掛け頂き、ぜひ当社「**3社協働オフィス**」にも**お立ち寄り頂ければ幸いです**。「エコプロ2016」の内容は、下記HPよりご覧下さい。
<http://eco-pro.com/2016>



新しい
住所です

〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F
TEL : 06-6940-7681 HP : www.energyfrontier.jp
E-Mail : kawami@energyfrontier.jp（川見）

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TTK西新橋ビル704
TEL : 03-6206-1245 E-Mail : morita@energyfrontier.jp（森田）